

Find My Mates に向けた解法の提案と実機への実装

JSAI SIGs Conference Paper Format Sample

矢野 優雅^{1*} 福田 有輝也¹ 小野 智寛¹ 田向 権^{1,2}

Yuga Yano¹, Yukiya Fukuda¹, Tomohiro Ono¹, and Hakaru Tamukoh^{1,2}

¹ 九州工業大学大学院生命体工学研究科

¹ Graduate School of Life Science and Systems Engineering, Kyushu Institute of Technology,
Japan

² ニューロモルフィック AI ハードウェア研究センター

² Research Center for Neuromorphic AI Hardware, Kyushu Institute of Technology, Japan

Abstract: Abstract (English) comes here.....

1 序論

RoboCup@Home は、人間とロボットのインタラクションを発展させるための国際的なロボット競技会である。

近年、少子高齢化の影響によってホームサービスロボットへの注目が集まっている。また、ホームサービスロボットの発展を目的として、RoboCup@Home が開催されている。RoboCup@Home は、実際の家庭環境を模した部屋でロボットを動作させ、様々なタスクに挑戦し得点を競う大会である。

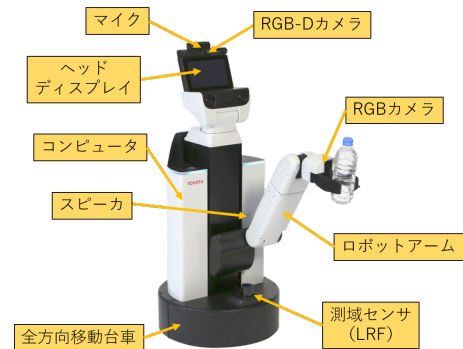


図 1: トヨタ社が開発した HSR.

1.1 RoboCup@Home

RoboCup@Home は、サービスロボット技術の発展を目的に開催されている競技会である。

1.2 Human Support Robot

Human Support Robot (HSR) はトヨタ自動車が開発したロボットで、図 2 に、HSR の外観と搭載されているデバイスを示します。

1.3 Find My Mates

2 関連研究

3 提案手法

3.1 音声認識

3.2 サブセクション

*連絡先：九州工業大学大学院生命体工学研究科人間知能システム工学専攻

〒 808-0135 福岡県北九州市若松区ひびきの 2-4
E-mail: yano.yuuga158@mail.kyutech.jp



図 2: 図の挿入例.

表 1: 表の挿入例.

	a_1	a_2
x_1	0.1	0.1
x_2	0.2	0.2

参考文献の引用例：[?][?]

4 むすび

....

謝辞

....

参考文献

- [1] Author, A., Author, B.: JSAI SIGs Conference Paper Format Sample, *International Journal of Examples*, Vol. 19, No. 4, pp. 1–2 (2007)
- [2] 第一著者, 第二著者: 人工知能学会研究会原稿フォーマットサンプル, *International Journal of Examples*, Vol. 19, No. 4, pp. 1–2 (2007)